

<史跡探索グループ>

成合春日神社・雨乞い神事祭具等の虫干し

7月25日(木) 快晴 今夏の猛暑の開幕を告げる様な暑さ。

a. m.9:00 春日神社に約30名が集合。
関西学院同窓会高槻・島本支部から7名の参加者、
氏子代表の世話人・NPO 史跡探索の方々。

境内は周りを山や田畑に囲まれ、
樹木もうっそうと茂り以外な涼しさ。

収納蔵の扉が開けられ、
本殿までの間にお手伝いのメンバーが二列に並び
蔵から取り出された箱を千鳥にバケツリレー式に順送り。
最後は本殿で梱包を解かれ敷物の上にひろげる。



関学同窓会高槻・島本支部

ここに雨乞い神事で用いられた、木彫りの大蛇の頭、
6体の蛇も並ぶ。

別棟の収納蔵には神仏混合の室町時代の仏像も保管。
氏子で世話人の岩さんから春日神社の由来の説明を
うける。春日神社には、現在常駐の宮司さんはおられず
盤手神社の宮司さんが兼務。
神社は一老から十老までの役職名の
十名の氏子代表の方々のお世話で保全されている。



蔵



本殿

風通しの待ち時間、近隣にある同窓会の神畑さんの畑に7名で南瓜の収穫に行く、
残念ながら南瓜は先客の猪にとられ、かわりにタマネギを頂く。

a.m. 11:00 虫干し終了後、防虫剤と共に再梱包。

お直り(お土産)を頂き解散。
暑い中ご参加の皆様ご苦労様でした。
今年、ご都合つかなくて見られなかった方、
次回は是非どうぞ・・・



お土産



6体の蛇
ユニット



大蛇の頭
高槻市有形
民俗文化財